

令和7年 第3回前半の定例会を終えて



杉本 透

神奈川県議会議員
(足柄上区選出)

令和7年9月8日(木)
10月14日まで、第3回前半の県議会定例会が開催されました。内容は、9月補正予算ならびにその他諸議案についてです。

縮小に関する対策協議会を立ち上げ、懸念される企業を支える体制の構築をしてまいります。

次に、津久井やまゆり園事件が発生してから9

年が経過し、若い世代を中心いて事件を知らない方が徐々に増えています。

事件を風化させないため

にも「ともに生きる社会

かながわ憲章」を制定し、憲章の理念を県民に伝えようとして、様々な事業を通じて発信を続けています。

しかししながら昨年7月、中井やまゆり園へ入所を希望していた方が、

適切な支援ができずに、転居先で死んでしまう事件が発生しました。このこと

はじめに、日産自動車(株)の追浜工場が車両生産を令和9年度末をもつて終了すると発表がありました。それを受け、県内の関連企業が1700社以上あり、その支援をするべく、体制を整えていくことと、また米国関税について、影響を受けることが懸念される中小企業も支えなければなりません。

そのために、「米国関税および日産自動車生産

を重く受け止め、令和8年4月に(独)神奈川県立福祉機構を設立し、福祉の人材の育成に努めています。

次に、自転車の安全で適正な利用の促進に関する規定の新設をします。病院経営緊急支援について、物価高騰等により経営が悪化している病院に対し、給付金の支給や病院の経営相談窓口を設置します。

県立足柄ふれあいの村の指定管理者は、南足柄市の(株)アグサに決定しました。また、「GREEN EXPO 2027」の開催に向け、県内全域の機運醸成を図るために、効果的なプロモーションを行います。様々な議案が提出されました。が、県西地域に関係する内容を取り上げました。今後も地域発展のため、しっかりと取り組んでまいります。